


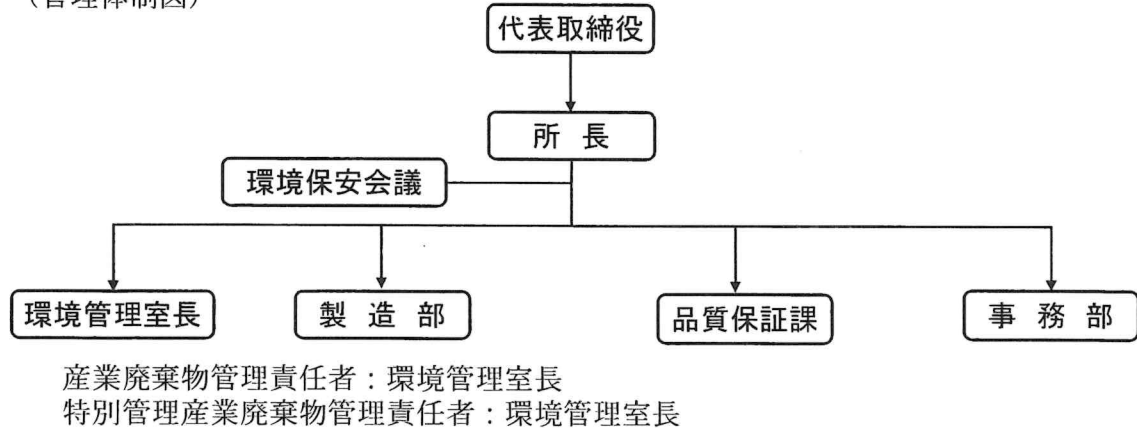
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月17日	
群馬県知事 殿	
	提出者 〒105-0001 住 所 東京都港区虎ノ門三丁目18番19号 氏 名 東邦亜鉛株式会社 代表取締役 伊藤 正人 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 03-4334-7313
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東邦亜鉛株式会社 安中製錬所
事業場の所在地	群馬県安中市中宿1443番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：非鉄金属製造業
②事業の規模	126,300百万円
③従業員数	451名（192名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油：油水分離→焼却→固形化・造粒 廃プラスチック：破碎→焼却 ゴムくず：埋立 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず：埋立 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず：破碎、切断→埋立 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず：破碎→リサイクル がれき類：埋立 鋳さい：焼成 鋳さい：破碎 木くず：破碎 汚泥：ばい焼、焼却

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排出量	36 t	37 t
	（これまでに実施した取組） 木くず：納入資材梱包材の簡素化。 廃プラスチック類：電解槽の材質変更による長寿命化。バルブ、ホース等の再利用。フレコンバック等の梱包材の簡素化。 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず：耐火材等の資材の寿命延長及び耐酸レンガの再利用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排出量	66 t	32 t
	（今後実施する予定の取組） 木くず：納入資材梱包材の更なる簡素化検討。 廃プラスチック類：バルブ、ホース等の再利用。フレコンバック等の梱包材の簡素化、樹脂パレット等のリサイクル検討。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ＜分別種類＞木くず、廃プラスチック類、ゴムくず、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃油 ＜取組＞廃棄物関連教育による廃棄物取扱意識の向上。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ＜分別種類＞木くず、廃プラスチック類、ゴムくず、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃油 ＜取組＞廃棄物関連教育による廃棄物取扱意識の更なる向上

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	金属くず
9 t	18 t	1 t	0 t

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	金属くず
9 t	24 t	2 t	4 t

がれき類	汚泥	鉱さい	
12 t	0 t	30,263 t	t

がれき類	汚泥	鉱さい	
22 t	0 t	956 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	10 t	t
	（これまでに実施した取組） ・紙くず等の再資源化。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	10 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・紙くずの分別徹底による再資源化。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	18 t	t
	（これまでに実施した取組） ・木くずの自社内での炭化処理実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	15 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・木くずの自社内での炭化処理実施。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 特に予定していない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	18 t	37 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	37 t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	18 t	- t
	（これまでに実施した取組） ・ 処理委託先の現地確認		

t	t	t	t

t	t	t	t

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	廃油
9 t	18 t	12 t	1 t
— t	18 t	— t	1 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

t	t	t	t

t	t	t	t

鉦さい			
30, 263 t	t	t	t
— t	t	t	t
30, 263 t	t	t	t
— t	t	t	t
— t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	66 t	32 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	— t	32 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	66 t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・処理委託先の現地確認		
※事務処理欄			

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	廃油
9 t	24 t	22 t	2 t
— t	— t	— t	2 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

金属くず	鋤さい		
4 t	956 t	t	t
— t	— t	t	t
— t	956 t	t	t
— t	— t	t	t
— t	— t	t	t